

## 全員協議会 会議記録

- 1 日 時 平成26年2月14日（金）午前11時00分開会
- 2 場 所 特別委員会室
- 3 出席議員 別紙一覧表のとおり
- 4 出席理事者 別紙一覧表のとおり
- 5 出席事務局職員
- |           |      |
|-----------|------|
| 事務局長      | 笠原祐一 |
| 議事調査課長    | 染谷稔  |
| 議事調査課長補佐  | 内海淳  |
| 議事調査課長補佐  | 鈴木章雄 |
| 議事調査課長補佐  | 原島和夫 |
| 議事調査課長補佐  | 秋谷昌子 |
| 議事調査課長補佐  | 根本真光 |
| 議事調査課長補佐  | 池田俊彦 |
| 議事調査課主幹   | 窪川栄一 |
| 議事調査課主任主事 | 太田敏弘 |
- 6 会議に付した事件 松戸市総合計画 第5次実施計画（案）について
- 7 会議の経過及び概要 議長会議宣言  
傍聴の許可（2名）

### 議長

松戸市総合計画 第5次実施計画（案）についてを議題といたします。

なお、本日は時間の都合もありますので、説明を聞くのみとしたいと思いますので、ご了承ください。

それでは、総合政策部長より説明をお願いいたします。

### 総合政策部長

それでは、松戸市総合計画 第5次実施計画（案）につきまして、ご説明させていただきます。

この実施計画（案）につきましては、昨年12月13日の全員説明会で説明いたしました素案を、議会からいただきましたご意見、併せて2月5日までのパブリックコメントに寄せられたご意見について検討を加え、平成26年度の予算編成作業などを経まして、最終的な実施計画（案）としたものでございます。

本日は、前回の素案に対する議会並びに市民の皆さまのご意見を、今回の最終案にどのように反映したのかを中心にご説明させていただきます。

まず、資料の確認をさせていただきたいと思います。

資料１、松戸市総合計画 第５次実施計画（案）、資料２、第５次実施計画（素案）に対する議会からの意見対応一覧表、資料３、第５次実施計画（素案）に対する市民意見からの対応一覧表、最後に資料４として、平成２５年１２月１３日全員説明会後の主な変更点の一覧表となっております。

資料２と資料３につきましては、議会及び市民の皆さまからの対応一覧表でございますが、この表は、いただいたご意見に対する素案の表記を表の左側に整理し、中ほどにご意見の趣旨をゴシック体で記入しております。その右側の欄には、市の考え方を記載しております。修正がある場合には、さらに右の欄に修正後の表現を記入しております。

今回、議会からは１９１件のご意見をいただきまして、それにより素案を修正した箇所は３３箇所となります。また、市民の皆さまからは１０１件のご意見をいただき、１５件を修正させていただきました。主な修正箇所につきましては、計画書（案）を説明する中でご説明いたします。また、ご意見につきましては、重複しているご意見もあり、修正箇所といたしましては３１箇所となりました。

それでは、本日の説明は、お手元に配付している資料１、松戸市総合計画 第５次実施計画（案）に沿ってさせていただきます。

まず、実施計画（案）の表紙を開いていただきますと、「はじめに」として市長のあいさつ文を掲載いたしました。

次に、１ページ、目次となりますが、一番下に資料編として、１．用語解説、２．めざそう値の指標解説を新たに追加いたしました。

次に、６ページをお開きください。「２．計画人口」の説明文につきまして前回の説明では、「第５次実施計画の目標年次である平成２８年度の人口を４９万５千人と設定します。」という表記だったものを、今回「後期基本計画では」と冒頭に追加させていただきます。第５次実施計画の目標年次である平成２８年度の人口を４９万５千人の最後を「設定しています。」という表現に変えさせていただきました。

次に、７ページから８ページですが、計画期間における「１．事業費」と「２．一般会計・歳出の財源見通し」につきまして、記載いたしました。

「１．事業費」につきましては、下に米印で書いてあるとおり、公債費、人件費等を除き６節ごとの全事業費と計画事業費について、年度ごとに掲載いたしました。また、８ページの「２．一般会計・歳出の財政見通し」につきましては、３年間の財源推計をもとに４，０１２億４，９００万円を見込み、財源内訳を記載しております。

なお、第４次実施計画の全事業費と比較しますと、３年間で約２億５，０００万円の減額となっております。

このあと、この財源が決まりましたということで、１２ページ以降につきましても、それぞれ年度ごとに計画事業費を記入しております。

次に、９ページから１０ページ、第３節 計画書の見方をご覧ください。

９ページ中段のめざそう値の注釈について変更いたしました。

いただきましたご意見の中に、めざそう値について平成３２年度が２８年度より下がっているのはおかしいのではとのご意見がたくさんございました。その設定の考え方について記載させていただきました。

まず、平成２８年度の説明といたしまして「第５次実施計画でめざす目標値です。平成２４年度の現状値などを踏まえ、設定しています。」と変更し、３２年度の説明としては、「後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。平成３２年度のめざそ

う値については、今回は修正はしておりませんが、第6次実施計画策定時に現状を踏まえ見直します。」と記載させていただきました。

次に、10ページ 右側の事業費の注釈です。前は「調整中につき、空白となっています。」と記載しておりましたが、今回、事業費を記入いたしましたので、「対象事業の全事業費を計上しています。ただし、計画期間内で事業の方向性を検討する事業については、対象事業費を計上せず、「－」（横線）事業費が伴わないものは、「0」で表示しています。」と説明を変更しました。

ここからは先は、計画事業についての修正点の説明になりますが、始めに、修正にあたっての主な視点をご説明いたします。修正の大きな視点は3点ございます。

まず、第1点が「施策の展開方向」の掲載についてでございます。素案では施策の展開方向を削除しておりましたが、この部分の記載がないと全体像がつかみにくいというご意見があり、検討した結果、第4次実施計画と同様に、すべての施策について、施策の展開方向を掲載することといたしました。

一例になりますが、実施計画（案）の12ページをご覧ください。このページの一番上に黒いダイヤモンドで「地域に根ざした協働の基盤づくりを推進します。」という「施策」が記載されております。その次に「施策の展開方向」を記載いたしました。

このあとも、各施策には施策の展開方向として、後期基本計画に記載しているものを第4次実施計画書と同様に記載しております。

修正の大きな視点の2点目が、取組み課題の「めざす成果」や「目標」の具体化です。

めざす成果がより明確にできる部分や目標に具体的な数値が掲げられているものは、具体的な数値を掲げるように修正いたしました。

修正の視点の3点目は、付則説明の追加です。めざそう値が平成28年度と32年度で逆転している個所や説明が必要な部分には米印を付けて、欄外に追加説明するなど、わかりやすくする工夫をいたしました。また、資料編に用語解説とめざそう値の指標解説を追加いたしました。

それでは、ここから先はポイントを絞って、計画事業の修正箇所について説明させていただきます。

始めに実施計画（案）の11ページをご覧ください。ここでは、「めざしたい将来像」の2行目に「”ふるさとまつど”」という表現がありますが、ダブルクォーテーションの誤表記を訂正いたしました。

次に、同じく11ページの下の方の「めざそう値の表」ですが、「市が協働する事業件数」の現状値が「－」から157件と具体的な数字を入れさせていただいております。

また、その下のNPO法人の数の欄ですが、括弧書きで「うち認定NPO法人」の部分を追加しました。

次に、12ページですが、先ほど説明しましたとおり、施策の展開方向を掲載しております。

次に、16ページをご覧ください。めざそう値の表の2段目「女性の就業割合」の現状値が46.3%から61.6%に変更させていただいております。併せて、平成28年度のめざそう値が57.5%から63%に修正されました。

また、下段に括弧書きで「P9 第3節 計画書の見方を参照」と記載いたしましたが、これは、平成28年度のめざそう値が32年度より高い目標数値になっているための説明で、同様に、この後の29ページ、32ページ、40ページ、44ページ、55ページ、

60ページ、67ページ、71ページ、75ページ、79ページに同じ注意書きを入れております。

次に、34ページ、取組み課題44の目標を「魅力ある市立高校創りのための検討会議を設置します。」から「魅力ある市立高校創りのための検討会議を設置し研究を進め、新たな視点からカリキュラムの開発や人材の登用を行います。」に修正いたしました。

次に、37ページ、取組み課題51のめざす成果を「生涯学習センターの方向性が明確になります。」から「市民の学習の場の拡大につながります。」へ修正し、目標を「関連部署と連携し、生涯学習センターの計画策定委員会を設置します。」から「図書館整備計画と連携した生涯学習センターの計画策定を目指します。」に修正いたしました。

次に、41ページ、取組み課題58の目標「平成24年度67,346人だった博物館利用者数を大幅に増やします。」から「平成24年度67,346人だった博物館利用者数を年間74,000人に増やします。」へ修正しました。

次に、同ページの取組み課題59の目標を「平成24年度39,956人であった戸定邸、戸定歴史館の入館者数を大幅に増やします。」から「平成24年度39,956人だった戸定邸、戸定歴史館の入館者数を年間44,000人に増やします。」へ修正しました。

次に45ページの取組み課題65の目標の注釈として、欄外に「現在の伝達手段：防災行政無線・MCA無線・安全安心メール・エリアメール・ツイッター・ケーブルテレビのテロップ・松戸市ニュース・ホームページ・広報車」と現在の九つある情報収集・伝達手段を記載いたしました。

次に、59ページ、取組み課題86のめざす成果を「市民ニーズに合う公園が再整備されます。」から「緑を活かし、市民ニーズに合う公園が再整備されます。」に修正いたしました。

次に、同じく59ページの取組み課題88については、取組み課題の担当課を「公園緑地課」に加え、「社会教育課、戸定歴史館」の2課を追加し、それに伴い、目標を「戸定が丘歴史公園整備が完了します。」から「戸定が丘歴史公園整備を整備し、国の名勝指定を目指します。」に修正いたしました。

次に、64ページ、取組み課題102を「松戸ゆかりの人や観光協会と連携した観光情報を提供し、観光促進を図ります。」から「まつど観光大使や松戸観光特命大使、学生観光サポーター養成講座受講生などが観光協会と連携しての観光情報を提供して、観光促進を図ります。」に修正しました。また、目標を「観光協会のホームページアクセス数を増やします。」から「観光入込客数を増やします。」に修正しました。

次に、74ページ、取組み課題119の課題を「千駄堀地区における交通利便性を向上させるため、新駅の設置について検討します。」から「千駄堀地区における交通利便性を向上させるため、新駅の設置を含めて検討します。」に修正いたしました。

次に、80ページ、127の取組み課題を「国・県等との調整を図り、様々な主体と情報共有しながら、中核市移行を推進します。」から「全市的合意を得るために、様々な主体と情報共有しながら、国・県との調整を図り、中核市移行を検討します。」に修正しました。また、目指す成果を「中核市移行に向けた準備が整います。」から「中核市移行に向けた方向性が定まります。」に修正しました。

取組み課題の主な修正点についてご説明いたしましたが、最後に資料4の「主な変更点一覧表」をご覧ください。本日、説明した番号だけ読み上げます。1、2、3、4、5、6、7、12、13、14、16、21、22、27、29、30について抜粋してご説

明いたしました。説明を省いた修正点については、お手数ですが、後ほど資料４でご確認いただければと思います。

最後になりますが、第５次実施計画は、現状で把握できている計画事業をもれなく取り上げているつもりです。この計画に基づき、今後精一杯めざす姿の達成に努力をいたしたいと思います。ただ、この計画にない緊急的な課題が発生することもあるかとは思いますが、その際には、皆様と情報を共有し、説明責任を果たしながら、緊急的な課題にも対応していきたいと考えております。。

第５次実施計画の円滑な推進にご協力くださるようお願いし、説明を終了させていただきます。

本日は、どうもありがとうございました。

## **議長**

ありがとうございました。

議長散会宣言  
午前１１時２３分